

「伝えよう、日本の心プロジェクト」 いよいよ始動!!

実施期間

2019年4月
▼
2020年9月



三重県 鈴鹿市立天名小学校



山形県 高島町立和田小学校

山形、三重で先行スタート 「あいさつで、みんなつながる トモダチ作戦」

全国各地での展開に向け、まずは地域を限定し、2018年10月から2019年2月にかけて『東京2020応援マーク』の入ったのぼり旗、たすき、ポスターを提供しました。

山形県では、県本部のほか、長井、米沢、高島などの支部が中心となって、教育委員会や学校に働きかけを行いました。特に、長井市や米沢市は競技関係者を受け入れるホストタウンとなっていることもあり、オリンピック・パラリンピックを盛り上げようと、小学校や中学校が積極的にグッズを活用してくれました。

一方三重県では、すでに従来ののぼり旗やたすきを活用している学校を中心に、県内全域の小・中学校に呼びかけたところ、41校の取り組みにつながりました。また子どもたちだけでなく、3つの街づくり団体も新たに手を上げ、見守り活動への使用にもつながっています。

全国の皆さんへのお披露目 ～読売新聞でプロジェクト紹介

「伝えよう、日本の心プロジェクト」が、読売新聞の社会面に、大きく取りあげられました。会員企業でもある読売新聞社のご協力をいただき、各活動の様子など、今後も掲載いただく予定です。皆様の活動のご報告をお待ちしています。



1963年に発足し、1964年の東京オリンピック開会式会場や選手村で、「小さな親切」実行章を募ったことがきっかけとなって全国に広まった「小さな親切」運動。

来る東京2020オリンピック・パラリンピックでは、これまで取り組んできた活動を通じて、日本人の親切心を世界に発信していこうと、「伝えよう、日本の心プロジェクト」を立ち上げました。

『東京2020応援プログラム』の認証を受けた5事業を、重点的に推進します。新年度から本格的にスタートしましたので、ご紹介します。

事業①

「小さな親切」実行章

皆さんの周囲に、『道に迷って不安そうにしていた外国人を、目的の場所に案内してあげた』、『心を込めた接客で、海外の方に喜ばれている』といった方が増えていませんか。期間中は、このように外国の方に思いやりあふれる行為をした個人や団体を積極的に表彰。実行章の賞状に加え、特製バッジをお贈りします。

事業②

日本列島クリーン大作戦

清掃活動を通じて、ごみを捨てない心や、人や街を思う気持ちを育てると共に、海外から訪れる観光客などを、美しい街並みで迎える活動として全国で展開します。『東京2020応援マーク』を使用したポスターのぼり旗を用意。清掃活動を実施する学校や団体に無償提供します。

事業③

あいさつで、みんなつながる トモダチ作戦

コミュニケーションの基本となるあいさつを習慣づけようと、全国の学校などが行っている「あいさつ運動」を、活動用品や、取り組み事例を提供することによりサポートする活動です。オリンピック・パラリンピックに向けて、海外からの旅行者や競技関係者等を、元気なあいさつや思いやりで迎えようとしている各地の街づくりに協力します。『東京2020応援マーク』を用いた、たすき・のぼり旗・ポスターを無償提供します。

事業④・⑤

作文コンクール・ はがきキャンペーン

本年度は、それぞれの従来のテーマに加え、「世界との出会い〜ありがとう、どういたしまして〜」という共通テーマを設定。外国人との交流や受けた親切、した親切、その時の気持ちを改めて思い起こす機会を作り、幅広い年齢層に、オリンピック・パラリンピックに向け、気持ちを盛り上げていってもらいたいと考えています。

それぞれの活動グッズは、17ページに掲載していますので、どうぞご覧下さい。また、ホームページでは、申込方法も紹介しています。どんどん活用いただき、みんなで地域を、そしてオリンピック・パラリンピックを、おもてなしの心で盛り上げましょう。